

消防団長紹介



高石市消防団 団長 西川 正喜

高石市は、昭和41年11月1日、昭和の大合併を乗り越え、大阪府内27番目の市として誕生しました。

全体的に平坦で、東西6.1km、南北4.1kmで、市域が11.30㎢とコンパクトな都市です。臨海部には堺市から泉大津市にかけて堺泉北臨海工業地帯が広がっています。そこで見られる工場夜景は、圧倒的な

スケール感と阪神高速湾岸線から望む連続したパノラマが魅力です。

高石市消防団は平成18年2月5日に発足しました。定員50人、3分団で構成されています。

活動については、春・秋・年末の火災予防運動や、大阪府消防大会ポンプ操法訓練、市内の自主防災組織が行う防災訓練での救急救命講習や消火訓練指導などを行い、地域の防災力の向上に努めています。

また、結成時より女性消防団員も採用しており、各分団に所属し男性消防団員と同様に訓練や活動を行っています。

私が入団したのは、当消防団が設立されました平成18年2月5日でありました。

いきなり、消防団長から分団長に任命されたときは、躊躇いたしました。この町で事業を興し育てられた私は、この町の安全と発展を願って高石市消防団分団長職をお受けすることといたしました。その後、平成19年4月1日に副団長に昇任し、令和2年4月1日付けで第2代消防団長のご勇退により第3代高石市消防団長の職を拝命し現在に至っております。

ご承知のように当消防団の歴史は浅く、大きな災害もなく記憶に残る様な出来事は御座いませんが、ただ言えることは非常に団結心の強い消防団であります。僅か設立10年余りで大阪府消防大会において2度の上位入賞を果たすなど高石市消防団の存在感をお示しできたものと自負しております。

私の好きな諺に「継続は力なり」があります。消防団活動も同じように自主防災訓練指導や救急講習又は広報活動等に積極的に参加して、広く市民の方々と接することが消防団への信頼につながるものと確信しております。

当消防団は、今後益々、「安全・安心な街 たかいし」を目指し邁進してまいります。